

前進座公演

北九州市立松本清張記念館プロデュース

松本清張=原作 鈴木幹二=脚色・演出

松本清張 朗読劇シリーズ



津田恵一



柳生啓介



浜名実貴

2016年

10月29日(土) 京都市 呉竹文化センター創造活動室 14:00開演(13:30開場)

【ご観劇料金】(税込)3,800円(当日4,000円)

30日(日) 総本山 三井寺 事務所2階 講堂 14:00開演(13:30開場)

【ご観劇料金】(税込)3,500円 主催：前進座大津友の会

◇29日 『波の塔』

昭和34年作。新進の検事小野木喬夫は、新橋演舞場で偶然知り合った結城頼子と急速に親しくなる。が、やがて小野木は、頼子が、自分が担当する汚職事件の被疑者の妻であることを知る。

二人は「どこへも行けない道」に向かって歩み始める……。

戦後日本の官僚汚職や、青年検事と謎の女性との許されざる恋を描く、ロマンあふれるサスペンスの名作。

『球形の荒野』

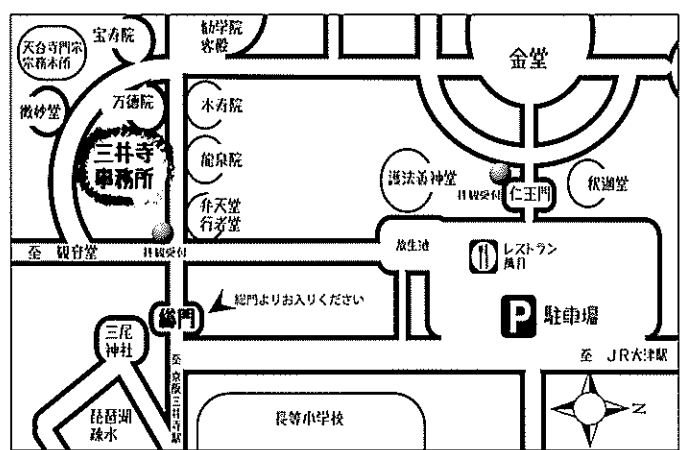
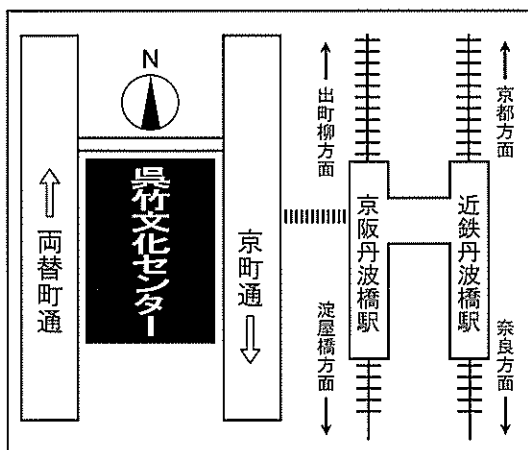
昭和35年作。芦村節子は旅で訪れた奈良唐招提寺の芳名帳に、外交官だった亡き叔父野上頭一郎の独特な筆跡を見つけた。大戦末期、中立国にて病死したと伝えられた野上であったが……。

戦争の「亡霊」の帰還と、父娘の情愛、そして次々と起きる関係者の不審な死……。終戦工作のため、歴史に翻弄され、祖国と家族を捨てねばならなかった男の運命を描く、国際謀略ミステリーの大作。

◇30日 『或る「小倉日記」伝』

昭和27年度下半期芥川賞を受賞した清張の出世作。情熱を注ぎこんだ果てに、努力が無に帰する人間の悲劇。それは、清張が生涯追いつけて止まぬテーマであった。

※30日は『球形の荒野』と『或る「小倉日記」伝』を公演します。



京都市 呉竹文化センター
京都市伏見区京町南7丁目35-1 ☎075-603-2463
■京阪…京阪本線「丹波橋」西口前
■近鉄…近鉄本線「丹波橋」西口前

総本山三井寺(園城寺)
大津市園城寺町246 ☎077-522-2238(代)
■JR大津駅(琵琶湖線・湖西線)より徒歩約18分・京阪バス三井寺下車すぐ
■京阪三井寺駅(石坂線)より徒歩約7分
■駐車場あり(有料)
※公演当日は、総門よりお入りください。